

発表1

本の帯を活用した図書委員会の活動

発表者 内田 英明(群馬県伊勢崎市立境西中学校)

指導者 深沢 勝彦

(元山梨県学校図書館教育研究会副会長)

記録者 荻原 明恵(群馬県太田市立木崎中学校)

I 発表要旨

1 主題設定理由

境西中学校では朝読書の時間が10分間設定され、昼休みには多くの生徒が図書室に来て読書に親しんでいる。しかし、本の貸し出し数は年々減少傾向にある。原因は、借りる生徒の固定化、貸し出しをしていない漫画を読んでいる生徒が多いことだと考えられる。そこで、委員会活動を通じて様々な本を紹介し、読書の幅を広げていきたいと考え、本主題を設定した。

2 実践の概要

(1) 新冊図書の紹介

図書委員が新しい本の帯を剥がし模造紙にまとめて貼り、図書室の廊下に掲示して紹介した。廊下で立ち止まって帯を見る生徒や、本の場所を質問してくる生徒もいた。

(2) 教員や図書委員のおすすめ本の紹介

秋の読書週間でイベントをしたいという意見が図書委員から出た。そこで、先生方の本の紹介文や自分たちのおすすめ本をまとめた。廊下の掲示と10分休みや昼休みに毎日図書委員が放送で本を紹介した。それらの活動により、本の貸し出し数が増えてきた。

(3) 各コーナーの設置

リクエストコーナーや、特設コーナーを設けた。リクエストコーナーでは、入荷した本を図書室の中央に配置した。また、境西中には、お弁当の日という生徒本人がお弁当を作る日がある。お弁当特集になっていて、実際に本を参考にしたお弁当作りをする生徒もいた。

II 協議・質疑

◎原稿を書く時間はいつか、生達が自主的に時間を作っているのか。(東京・須賀)

・担当は決めておくが、作業は休み時間や各家庭で行っている。昼休みも司書の方がいて開館しているの、そこでの10分を積み上げたり、放課後に行ったりすることもある。

◎朝読書を10分×5で50分確保できるのはすごい。その時間の大切さを伝えていきたい。

(栃木・上岡)

◎本の帯を後日、本に戻すということだったが、模造紙には何で貼っているのか。

・レイアウトを考えて見やすいように貼り、模造紙に貼ったものは、そのまま切って本の内側に戻している。もし破れてしまったらテープで貼っている。

◎掲示の仕方について、模造紙を図書館で使うものの大きなサイズのものでコーティングし、ピットのりで貼ると、一度貼ったものでも剥がしやすい。(神奈川・江平)

III 指導・助言

学校図書館は古い場所が多いが、明るいところにあるとよい。学校の端のほうや3階にあることが多いが、できれば学校の中心にあってほしい。

杉本先生が本の世界の宣伝不足だとおっしゃっていたが、子ども達が図書室に導かれるような展示が図書室の外にあるとよいので、廊下での掲示はよいアイデアだと思う。玄関などにも掲示ができることさらによいのでないか。

本の帯をたくさん取り上げるということは素晴らしいが、一つ一つの帯が丁寧に読めるように、空間をもたせた掲示ができると更によりと思う。背表紙を見るだけでは本を読んでくれないので帯を出すという活動は効果的だと思う。今回の実践は工夫として面白かった。

IV まとめ

生徒達が「図書館をこういうものにしたい」というアイデアで、本の帯を掲示する活動を行った。本の帯にはキャッチコピーが書かれていることも多く、帯を掲示することは、生徒が本を手取るきっかけになる。

図書室の開館時間だけでは時間が短く、ゆっくりと本を探せないという声もある。図書室に生徒を導くためには、学校や生徒の実態を踏まえ、今回の実践のような廊下を使った掲示や、学級文庫の蔵書の工夫、休み時間を活用しての本の紹介など、図書室の外での活動も重要になってくる。